

看護師20年・3人の子育てお母さん

藤田りょうこ

都政・医療福祉対策室長 事務所ニュース

No. 30 2017年 3月 23日



写真上、豊洲市場移転反対宣伝・署名アクションで訴える藤田りょうこさん（左）写真左、署名に応ずる人々

豊洲市場移転は中止しかない 宣伝署名に都民の高い関心

3月18日（土）、藤田りょうこ事務所は蒲田駅西口で「豊洲移転は中止を」宣伝署名アクションを取り組み、藤田りょうこさんをはじめ35人が参加しました。

午前11時から1時間の短時間で54筆の署名が集まりました。百条委員会も始まり、都民の関心の高さが示されました。

ロク々に心配の声

署名行動では、「どうなるんでしょうね」「こまったですね。早く解決してほしいですね」「汚れていては安心できない

ですね」「跡地が心配です」などと心配されている方が多くいました。また3人組の女性は「わたしは創価学会だから署名できないわ」と話しました。

藤田りょうこコメント

東京都が行った豊洲の土壌汚染対策は破たんしています。地下水モニタリング調査9回目と、先週発表になった再調査の結果が最も信ぴょう性があり、豊洲に食の市場を移せないことが、科学的にも明らかになっていきます。おかみさん会をはじめ、築地市場関係者や消費者みなさんの声を都政に届けるために、これからも頑張ります。

都庁提出行動

17日、東京都庁で、豊洲市場への移転中止などを求める小池都知事あての署名提出行動が行なわれ、藤田りょうこさんも参加。大田から1437筆の署名を届けました。全体では2万6636名分が提出されました。

署名を提出する藤田りょうこさん（右から2人目）



連絡先 〒144-0051 大田区西蒲田6-34-7 ☎3736-1494 fax3735-4522
URL <http://r-fujita.jcp-ota.jp/> E-mail r-fujita@jcp-ota.jp
Twitter @ryokofujitajcp Facebook @ryoko.fujita.jcp



藤田りょうこさんを何としても都政へ

わたしも
応援
します！

前向きの強さと抜群の行動力

短大時代の友人 今井もえ

二児の母
保健師

私と藤田さんとの出会いは看護学生時代。20年以上になりま
す。彼女の出会った時から変わ
らないところ、それは、辛いこ
とも前向きに乗り越える強さと
抜群の行動力です。忙しい学生
時代でしたが、彼女の辛い顔は
ほとんど印象にありません。
「大変だー。」と言いつつも、
いつの間にか、いつもの笑顔で
前に進んでいるのです。

バイクツーリング

社会人となってから、仲間と
北海道までバイクツーリングに
行った時は6日間で2500km
を走破しました。若さもあつた
かとは思いますが、道の駅のト
イシの裏にテントを張ったり、
ユースホステルで見知らぬ人と
出会ったりなど、彼女の行動力
なしでは、とてもできない旅行
でした。
「大変なことなんてそうそうな
い、挑戦してみよう」と、出会っ
た人に勇気を与えてくれる不思
議な力を持っているのです。

政治を身近なものとして

親となり次世代を担っていく

私達ですが、同年代の政治への
関心の薄さを常々感じ、危惧し
ています。政治を身近なものと
して、自分達が社会の一員であ
ることを再認識するためにも、
この世代から声を上げていく必
要があると思います。

ひたむきで真っ直ぐに進む藤田さん

藤田さんは自分の考えをしつ
かり持っており、それを積極的
に伝える強さも兼ね合わせてい
ます。自分の信じたことにひた
むきで、真っ直ぐに進む彼女を、
是非応援していきたいと思いま
す。



文中のツーリング時の一枚。真ん
中が今井さん。右が藤田さん。北
海道礼文島まで足をのびました

告示まで92日

駅頭宣伝・まちか
ど宣伝を勢いよく
楽しくやりましょ
う。ビラまき、の
ぼり、プaster。大勢のみなさんの
参加をお願いします。

《主な駅頭宣伝》

※雨天中止または変更の場合あり

- | | |
|---------------|----------|
| 朝の駅頭 | 7時15分～8時 |
| 24日 (金) | 鶉の木駅 |
| 27日 (月) | 長原駅 |
| 28日 (火) | 石川台駅 |
| 29日 (水) | 田園調布駅 |
| 31日 (金) | 蒲田東急口 |
| 夕方 の駅頭 | 17時～18時 |
| 31日 (金) | 蒲田西口 |

藤田りょうこ成長記 ③0

全力疾走20代編 藤田りょうこ

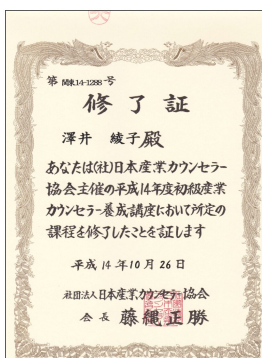
産業カウンセラーの資格を得る

組合活動や党活動を頑
張っていた方が、メンタ
ル不全になりました。私
は「やりたいことをやっ
ていけばストレスはたま
らない」と思っていたの
で、とてもショックでし
た。原因を理解するため、
すぐに社医研センターの
方に相談。産業カウンセ
ラーの学校に通うこと
にしました。

話を聴いて、その人の
思いをどれだけ共感した
と伝えられるか、自分の
思いをいかに表現するか
カウンセリングの歴史と
ともに、「聴く力」を学
ばせてもらいました。統
合失調症の叔母との生活

から、精神科にも興味があ
ったので、入院中の患
者さんの心のケアにも生
かせる学びとなりました。
(28歳)

叔母と私(小四の頃)



産業カウンセラー養成講
座修了証